

サヌキ エアウェイ

SANUKI-AIRWAY (SAW)

挿入、マスク換気が容易、経口 FOB 挿管可能な多用途エアウェイ

【特徴】

- ① 全面の梨地加工と軟質 PVC 製：本品および胃管や FOB の円滑な出し入れが可能。
- ② 背面から取り出し易いスリット(約 4.0~1.5mm)付。
- ③ 大口径：気道への開口部(13x17mm)が広く、マスク換気が容易。
- ④ バイトブロック構造：上部は内視鏡用バイトブロック仕様。上下歯列のアライメント調整が容易。上顎前突、欠歯症例、救急搬送等に最適。

【用途】

- 経口 FOB 挿管ガイド
- 気管挿管後の経口/経鼻胃管挿入ガイド
- マスク換気時のエアウェイ

軟質 PVC 製

Latex Free
DEHP Free



経口胃管挿入完了後、SAWを抜去する図

経鼻胃管挿入後の図



<短期的使用口腔咽頭エアウェイ>

(EOG 滅菌済)

品番	仕様	包装
SA13100	成人用 100mm(開口部内径 13 X17mm, バイトブロック部外径 27mm, 全長約 100mm)	10個/箱

医療機器届出番号:13B1X00008000036

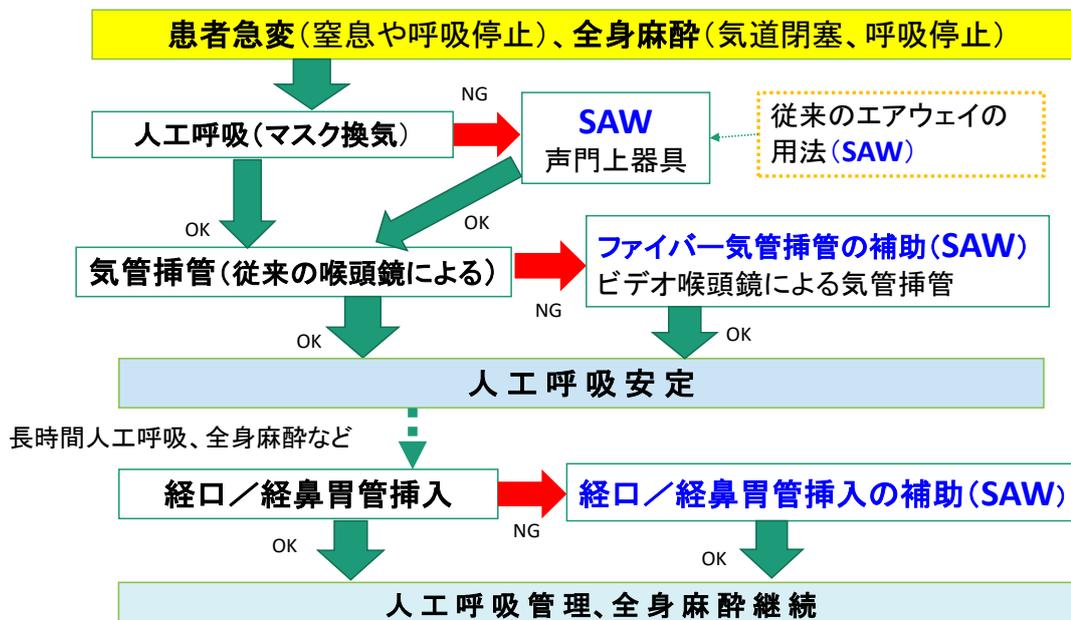
製造販売元

株式会社フジメディカル

〒160-0004
東京都新宿区四谷 4-1 細井ビル 5F
TEL 03-3356-8377 FAX 03-3356-8380
http:// www.fuji-medical.co.jp

販売代理店

【S AWの用途】



【サヌキエアウェイ(SAW)挿入法】

1. 患者の口を開け、口腔内の異物があれば取り除く。
2. SAW先端を、開口部正中から舌の前面に沿って気道方向に挿入する。
3. SAWのつばの部分を手指で持ち適正な深さに調節し下顎を挙上してSAWの位置を安定させる。
4. 気道が開通したか確認する。

【気管挿管後の経口または経鼻胃管挿入ガイド】

1. 気管挿管後、SAWを開口部正中から、舌の前面に沿って気道方向に挿入する。挿入長を調節する。
2. 手袋を装着した利き手の掌(以下掌)に十分な潤滑ゼリーを取り、胃管の55cm付近から先端に向けて全周性にゼリーを塗布する。
3. ゼリーのついていない手で、頸部を気管ごと持ち上げたまま、[経口胃管時] SAW開口部から、[経鼻胃管時] 鼻孔から、胃管を挿入する。
4. (指を使わず) 掌のみで胃管を持って挿入し、抵抗がなければ55cmまで進める。
5. 胃管が挿入されたかどうかを確認する(胃管への空気注入を胃部で聴診するか胃液などの吸引を確かめる/胸部X線写真で胃部への挿入を確認する)。
6. [経口胃管時] 胃管を押さえながら背面のスリットからSAWを抜去する。

【経口FOB挿管ガイド】

1. 外径5mm前後のFOBに潤滑剤を塗布し、目的とする気管チューブを通しておく(滑り落ちないように、テープなどでFOBの根元に気管チューブを仮止めしておく)。
2. SAWを患者に挿入し、つばの部分を持って適切な深さに調節し下顎を挙上する。
3. 十分なマスク換気と酸素化の後に、SAW開口部からFOBを挿入する。この時、助手が尾側から下顎を持ち上げ、SAWを正中へ保持する。また、術者のファイバー操作により喉頭が見えやすい位置にSAWの深さと方向を調節する。(マスク換気で酸素化を十分に行った後も、挿管操作の間に低酸素にならないようにSpO₂などで十分な監視をおこなうこと)。
4. 気管内にFOBを挿入した後、背面のスリットからFOBが抜けないように押さえながらSAWを抜去する。気管チューブの仮止めテープをはずし、気管チューブをFOBに沿って気管内に挿入する。
(コツ: チューブが引っかかるときはFOBを右または左方向に向けた後、気管チューブを少し引き戻すと、抵抗なく進む。)
5. 適正な位置に気管挿管できたことを、換気により確認する(EtCO₂の呼出、胸郭の上がり、胸部5点聴診などによる)。